

水都苑

第35号 社会福祉法人 国寿会

一部ユニット型特別養護老人ホーム
ショートステイサービス
シデイサビ
居宅介護支援サービス
ケアハウス

〒289-0313

TEL 0478-82-3388

千葉県香取市小見川676-2

FAX 0478-82-2481

発行責任者 力根 秀樹

ケアハウス

元気に一・二・三
朝の体操



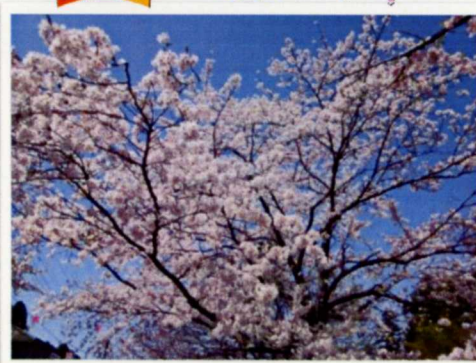
朝野 葉子様

私の一日の始まりは毎朝食の後に血圧の測定がありま
す。テレビのラジオ体操でピア
ノの伴奏に合わせて皆それぞ
れの場所で体操をします。普段
あまり動かない身体を、上半
身、手足と筋肉を使い血液を潤
滑にし、この短い時間の中で硬
くなった身体をときほぐしま
す。体操が終わった後の爽快さ
は気分を和らげ、今日一日をゆ
ったり過ごせるような気がし
ます。



満開の桜に感動

久しぶりの外出の日、青空
が輝いて見え喜んでくれてい
る様に感じます。



香取神宮に着くと何本もの
大木が満開で花が舞い落ちる
姿に大自然の偉大さを再認識
させられました。音もなく散つ
た花びらを踏みしめ「来年も」
と何度もつぶやきました。
美しい自然の営みをのぞか
せてもらって楽しい一日でし
た。



久しぶりの包丁さばき



末光 喜久子様

今まで調理実習は職員さ
んが準備して下さっていた
ので呑気にしていられまし
た。これからは私達も職員さ
んと一緒に担当することに
なって久しぶりに包丁を握
ることになりました。今日は
きのこカレーです。最初は少
しとまどいましたが「皆腕を
振るってやろうよ。」との掛
け声で食材を並べ、皮を剥い
だり、洗って切つてと、昔を
思い出しながら準備を完了
しお鍋に食材を入れて火に
かけるとゴトゴトと音が聞
こえて何とも云えぬ小さな

新任職員紹介です

特養介護職
木内 雅貴さん特養介護職
多田 早織さんデイ看護師
櫻井 正枝さん

氏名 平野 岳志さん

「本人からひとこと」

介護支援専門員として利用
者様が安心して生活できるよ
うに努力していこうと思いま
す。宜しくお願いします。

災害時に備えて

東日本大震災から一年余
り過ぎましたが、相変わらず地
震が頻発しています。とくに
最近茨城県・千葉県東方沖
の震源が多く、近以内に大き
な地震が発生するのではと、
不安になります。

常に百人以上の方が生活し
ている施設として非常時に備
えた防災訓練を消防署の指導
のもと年間四回実施していま
すが、いざという時に落ちてい
て避難誘導ができるか、夜間の
職員召集が迅速にできるか、な
どの課題がありますが、入居者
様の生命を守るために、常日頃
から火災予防と災害への備え
を怠らないことが大切である
と職員全員が認識して防災訓
練を行っています。

新入居者をご紹介



梁池 忠治様

早いもので入居してから五
ヶ月がたちました。最近やっ
とケアハウスの行事にも馴れ
てきました。私は自由に外出さ
せていただき感謝しております
これからも皆さんと仲良くお
付き合いしていきたいと思っ
ます。よろしく申し上げます。



中野 昭平様

ケアハウスに入居して早い
もので三ヶ月が過ぎようとし
ています。足が不自由なので皆
さんにご迷惑かけています。
家にいる時はあまり外出す
る事もなかったが今は月二回
の外出、ショッピングが楽し
みです。皆様気持ちの良い方
で今後とも宜しくお願いします。

「介護職員の喀痰吸引・経管栄養実施行為の取り組みについて」

永年勤続職員

本年四月から医療法の一部

看護師長 吉岡 悦子

改正により、特別養護老人ホ
ムの介護職員が、痰の吸引と胃
ろうによる経管栄養の実施が
可能となりました。

専門用語をわかりやすい
言葉で講義することを中心が
け、ビデオやお互いに演習を
通じ理解を深めながら、知識
と技術の習得を目指しまし
た。介護職員の経験や理解度
にも差がある中、医療行為を
行うことに対する不安や負
担の増加等、色々課題はあり
ますが、研修を通して解剖生
理など基礎的な教育を受け
たことで、利用者様の苦痛を
最小限にすることや、リスク
提供体制が十分でなく、痰の吸
引や経管栄養が必要な介護者
の入所が難しい状況にありま
す。そこで、厚生労働省は一定
の条件下、介護職員が実施で
きることを目指し、指導を担う
看護師の養成及び全国均一な
レベルで実施・指導が出来るよ
うに研修をしました。水都苑か
ら二名の看護師が参加し平
成二十三年六月より六グルー
プ三十九名の介護職員に対し
各十四時間の研修がスタート
しました。

水都苑は本年四月で創立十
八年年目に入りました。
苑開設当初から、又、開設後
間もなく入職した職員六名の
方が在職十五年以上となりま
した。六名の職員のお名前を紹
介して永年の職務精励と功績
に対し感謝の意を表します。
片野 玲子さん（特養ケアマネ）
大網 郁子さん（ケアハウス相談員）
高野 喜代子さん（居宅ケアマネ）
荒木 真里子さん（特養相談員）
鎌形 幸世さん（ケアハウス介護職）
力根 秀樹さん（施設長）

特養介護支援専門員

「ケアマネ」二名体制に

特養に入所された方に対す
る施設介護サービス計画「ケ
アプラン」を作成する業務を
担当する介護支援専門員「ケ
アマネジャー」を新たに一
名増員して二人体制としまし
た。新任者を紹介しますので
宜しくお願いします。

デイサービス

桜で春を満喫

今年の開花は遅れるとの情報で、花見の担当者が日程調整に苦慮していましたが「桜は入學式には必ず咲く」という思いで四月九日から一週間の予定をたて利用者様と共に開花を願っていました。

今年は気分を一新し、場所も変えて鹿嶋市城山公園へ...皆様の願いが届いたのか最高の桜見物になりました。

小見川大橋を渡り利根川の先には筑波山の姿も見事に春を満喫している様にも見えませんでした。車内は心ウキウキ笑顔いっぱい。



皆でいただきますーす

城山公園では満開の桜が迎え入れてくれ、春の暖かい日差しと共に、桜の下でいただくお茶やお菓子の味は格別。



利用者の花を見る動作が一段と激しさを増し、しだれ桜のしなやかな花の色に「きれいだ、きれいだ」と感嘆の声。高台から見える景色はすばらしく遠方には、北浦・鹿島神宮橋小見川方面も一望できます。

最後に桜と共に記念撮影。利用者様の笑顔に職員も幸福でした。

今年の冬は、寒さも厳しく、特に朝晩の冷え込みが身に染みる中、デイサービスの利用者様は元気にご利用されています。そんな中、二月の下旬に恒例の「どら焼き」作りを開催しました。デイサービスの手作り「どら焼き」は、生地をこねるところから始まります。レシピにそって重曹やはちみつを加え、きちんと計量して大きなボウルで一気に入れ混ぜ合わせると生地はふつくとできあがります。

その生地をホットプレートで一枚ずつ焼き上げるのですが、そこが腕の見せどころです。中には真つ黒に焦げてしまうものや、形のくずれてしまうものもあります。上手に焼きあがった「どら焼き」に利用者様から大きな歓声が沸きあがります。そこにお好みで、あんこやホイップをはさんでもらい、おいしそうな「どら焼き」を前に、もう、待ちきれない様子です。「みなさまどうぞ」の声にパクと一口笑顔で「おいしい」

と言う声があちらこちらから聞こえてきました。おかわりされる利用者様も何人もいらつしやいました。皆で手作りし、できたてのおいしさを味わい、楽しい時間を過ごしていただくことができました。帰りの送迎車の中でも「来年まで食べれないのねえ」と今から来年が待ち遠しい様子でした。日々利用者様と楽しいレクリエーションをして、過ごせるよう、職員一同行事に力を入れています。



主な行事予定

- 四月 桜見物
- 五月 お茶会
- 六月 バラ園見物
- 七月 夏祭り
- 八月 ぶどう狩り
- 九月 運動会
- 十月 お茶会
- 十一月 菊見物
- 十二月 クリスマス会
- 一月 鍋会
- 二月 お茶会
- 三月 どら焼き作り

特養

多床室

創立記念日

めでたいなあ

春の暖かい風が吹き始めた四月一日、水都苑は創立記念日を迎えました。

昼食は、祝膳として、赤飯・お刺身・茶碗蒸しなどが振る舞われました。普段、あまり食べられない方も、この日だけはいしく召し上がられ完食していました。その後はボランティアの皆様による和太鼓の演舞を鑑賞し、おやつに紅白まんじゅうを食べました。

和太鼓の迫力に少し驚かれながらも、手拍子をして楽しまれていました。紅白まんじゅうも「おいしい」と召し上がられていました。

爽やかな風と暖かい日差しを浴びながら、春を満喫して楽しく過ごしていただきたいと思います。



春の風物詩

草木が芽を出し、暖かい日が続くようになりました。そんな春の訪れを肌身で感じたいと想い、香取神宮に桜を見に行きました。久々の外出で皆嬉しさを隠しきれない様子でした。職員と会話を楽しむ方、外の景色を鑑賞する方、車内はとてにぎやかでした。

香取神宮に到着すると、目の前に満開の桜が咲いていました。皆「綺麗」と口々に言いつつ桜を眺めていました。桜を見た後は、茶屋でおいしいお茶と団子を食べてほっと一息。春の暖かい風を浴び心も体もリフレッシュできた桜見物でした。



特養

ユニット

春風とともに

桜が咲き始めた頃、ユニットでもお花見へ出かけました。「そろそろ桜は咲いてきたかな?」「早くお花見へ行きたいね」と皆さん心待ちにしていました。



皆で作った

あんみつ

三月二十四日各ユニットの共同生活室であんみつ作りが行われました。器の中には寒天とフルーツが盛り付けられてあり、入居者様に好みの量のあんこをよそっていただきました。自分であんこを盛り付ける表情は、皆さんとても生き生きしていました。味はもちろん最高でした。



す。「甘い」との声を多く聞かれ「もう少し食べちゃおうかしら」と、おかわりをする様子もみられました。食べ終えたあとは入居者様の方から「次は何を作るの?」と次回を楽しみにされているようでした。

四月九日・十日・十二日・十三日の四日間に分けて、香取神宮・城山公園・黒部川沿いなど桜の名所へドライブに出かけ春の訪れを感じてきました。苑を出発して車の中から見える桜の木々はまるで「桜のトンネル」。そして風でひらひらと舞う桜の花びらは「桜吹雪」のようで皆さん大喜びでした。



方もらつしやいました。「天気も良いし、気持ちがいいなあ」と皆さん満喫されていました。苑へ到着してから「今日は満開の桜が見られて本当に良かった」と、終始笑顔でした。

